



古中だより「坂道」

くめざす生徒像>

- (知) 自ら学ぶ生徒
- (徳) 礼儀正しく思いやりのある生徒
- (体) 心身ともに健康な生徒

令和7年度 第35号

10月31日 発行

古殿町立古殿中学校
校長 大高 文雄

只今「三者面談中」

今週の月曜日から「三者面談」が始まりました。ご多用の中、ご来校いただき、感謝いたします。

1学期の三者面談から3ヶ月余り経ちましたが、その間、お子さんに心身の成長は見られたでしょうか。また、学習意欲をはじめ、家庭学習の様子に変化が見られたでしょうか。前期の学習評価（通知表）も合わせ、三者で実態を共有し、今後の学校生活に生かす、そのような充実した面談になることを願っています。

3年生は、受験校決定に向けた大事な面談になりますが、まずは、本人の「行きたい高校」を第一に考え、話し合うと良いと思います。そうすることで、「どの教科の何を学習すれば良いのか」など、必要な取り組みが具体的に見えてくると思います。目標（自分が本当に行きたい高校）を下げるのは簡単ですが、県立高校受験まで残り4ヶ月もあるので、今はその時期ではないと思います。今は、日々の学習にしっかり向き合い、「できた・わかった」を積み重ねてほしいと思います。

後期学級役員 & 生徒会本部役員任命



27日（月）の午後は、全校集会が行われました。その中で、各種表彰と後期の学級役員や生徒会本部役員の任命式を行いました。先日、生徒会専門委員会も後期の組織に変わり、新しいリーダーのもと活動が始まりました。学級でも同じように、それぞれが自分の個性（良さ）を発揮しながら、学級のみんなが居心地良いものにしてほしいと思います。

また、生徒会本部も生徒会長を始め本部役員がフレッシュな顔ぶれになりました。生徒数の減少に反比例するような、活気ある活動を展開してほしいです。また、新しい古中の顔として、学校内外でも活躍してくれるものと信じています。



来週は「漢字コンテスト」 & 「漢字検定」

学校では来週の4日（月）に行われる「漢字コンテスト」と7日（金）の「漢字検定」の合格に向けて、教科や学年で取り組んでいる最中です。

「漢字コンテスト」は、基礎学力コンテストの2教科目になります。出題範囲が分かっているので、漢字の読みと書きの練習を繰り返し、本番では80点以上を取って全員合格を目指してほしいです。

「漢字検定」は、各自が受験したい級を申し込みました。学年相当の級から2級（高校卒業、大学・一般レベル）までの幅広い級で受験するようです。英語検定と同じく、今回も受験費用は町の負担で行われます。ここには、「古殿の子ども達にできる限りの教育を施してあげたい」という町の思いがあることを忘れてはいけません。自分で決めた級の受験も含め、3年間でできるだけ上位の級の合格を目指して、最後までしっかり取り組んでほしいです。

資格取得については、今までも話をしてきましたが、身につけていて邪魔になるものではないので、身につけられるうちに身につけておくことが大切です。特に、昔から言われるように、「読み、書き、そろばん」は時代が変わっても、世の中で必要なことです。例え、英語はどうしても苦手だったとして百歩譲ったとしても、日本人としての日本語は・・・譲れません。明日からの3連休は、ご家庭でも頑張らせてください。【令和に入り、「そろばん」の人气が復活しているようです。計算力や記憶力が身につくと、子どもの習い事として人气が上がっているようです。】